

登録コード	SE505300	開講年度	2026					
授業題目	陸水生態学特論Ⅰ					担当教員	宮原 裕一	
英文授業名	Topics in Aquatic EcologyⅠ					副担当		
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	3年
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ							
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識					⇔	陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。	
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し, その成果を的確に他者に伝える力					⇔	陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。	
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み, その成果を社会に役立てる力					⇔	陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	研究室のセミナーなどに出席し, 関連分野への理解を深めるとともに, 文献紹介や, その質疑応答を行う。また, 陸水生態学特論Ⅱと連動し, 野外あるいは室内の実験を適宜行い, その成果についての発表やレポート(研究計画)の提出を行う。							
(5)授業のキーワード	専門分野への関心, 研究計画の立案							
(6)授業計画	毎週, 諏訪臨湖実験所で行われているセミナーに参加する。日程については, 教員から指示がある。最終回には授業のふりかえりを入力する。							
(7)成績評価の方法	関連分野の論文や研究成果の紹介において, 1)その内容の理解度と関連分野への掘り下げ, 2)他人が分かりやすい工夫, 3)丁寧な質疑応答がなされたかをもとに評価する。							
(8)成績評価の基準	上記評価の方法において, 1)から3)それぞれをどの程度満足しているかで判断する。							
(9)事前事後学習の内容	関連分野について, 専門書や学術論文を読み, 理解を深めることをお勧めします。							
(10)履修上の注意	諏訪臨湖実験所(諏訪市湖岸通り5-2-4)で行います。							
(11)質問,相談への対応	miyabar@shinshu-u.ac.jpへご連絡ください。							
【教科書】								
【参考書】	河川生態学入門, 平林公男・東城幸治編 共立出版							